

CASBEE® - 建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: osk_CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)大阪芸術大学 新学科棟	階数	地上2F、地下1F
建設地	南河内郡河南町	構造	SRC造
用途地域	第1種住居地域	平均居住人員	320 人
地域区分	5地域	年間使用時間	2,500 時間/年(想定値)
建物用途	学校,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年8月 予定	評価の実施日	2017年6月1日
敷地面積	209,854 m ²	作成者	妹島和世建築設計事務所・原田
建築面積	2,684 m ²	確認日	2017年6月3日
延床面積	3,137 m ²	確認者	同上

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100% (46 kg-CO₂/年・m²)

②建築物の取組み 82%

③上記+②以外の 82%

④上記+ 82%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 3.0

Q1 室内環境 Q1のスコア = 3.1

音環境	4.2
温熱環境	3.0
光・視環境	3.1
空気質環境	2.8

Q2 サービス性能 Q2のスコア = 3.1

機能性	3.8
耐用性	2.9
対応性	2.5

Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 2.6

生物環境	1.0
まちなみ	4.0
地域性・	2.5

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.1

LR1 エネルギー LR1のスコア = 3.5

建物外皮の	5.0
自然エネ	4.0
設備システ	3.8
効率的	1.0

LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 2.6

水資源	2.2
非再生材料の	2.6
汚染物質	3.0

LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.0

地球温暖化	3.7
地域環境	2.7
周辺環境	2.7

3 設計上の配慮事項		
総合	その他	
豊かなみどりに囲まれた小高い山の上に敷地があります。山と連続するようにスラブは起伏があり、地面から離れたりくついたりしています。大きな底下空間はバス待合や人々の集まる場所になります。また、スラブが三層に分かれ吹き抜けでつながることで天井の高い大きなワンルームに光が入り、フレキシブルな開放的な空間になります。		
Q1 室内環境 大きなワンルームの共有スペースではハイサイドから光を取り入れ、各層窓を設けることで、自然換気を可能としています。講義室や実験室、ギャラリーは共有スペースと切り離して、独立した良好な室内環境をつくりま	Q2 サービス性能 共有スペースでは天井が高いことや、壁のない平面とすることで、芸術大学のアートや映像の製作を自由に行えます。講義室や実験室、ギャラリーも適切な天井高さ及び広さを確保して、部屋を分けたり、展示したり、フレキシブ	Q3 室外環境(敷地内) キャンパスの端に位置し、玄関口でもあるので、大きな底下空間をつくることで、人々が集まることが出来ます。既存の建物や植生よりも少し建物高さを低くすることで、山の起伏や緑豊かな環境と連続します。
LR1 エネルギー 大きな庇やハイサイドライト、換気窓を設けることで、間接的な光を取り入れ、共有スペースも自然換気を可能にしています。	LR2 資源・マテリアル 既存キャンパスのマテリアルを尊重し、コンクリートを採用し、周囲の環境と連続させます。	LR3 敷地外環境 燃焼機器を設置しないことで大気汚染物質は発生しません。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム 2015年版

大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H29-0030

Osakafu-新築・既存 2015V1.03

【建物概要】	建物名称	(仮称)大阪芸術大学 新学科棟					
	建設地	南河内郡河南町					
	用途/区分	学校					
【評価結果】	CASBEE 総合評価					B+	
	CO2削減					4	
	省エネ対策					3	
	みどり・ヒート アイランド対策					2	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—
	エネルギー消費量の報告					報告しない	

【評価項目】				
省エネルギー対策		① CO2削減		
		② 省エネ対策		
項目	評価内容	スコア	評価	
① CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価	3.7	4	
② 省エネ対策	外皮性能	CASBEE「Q1-2. 1. 2」のスコアによる評価 建物全体	3.0	3
	建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価	5.0	
	自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価	4.0	
	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価	3.8	
	効率的運用	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価	1.0	
	水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価	2.2	
	エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない	
みどり ヒートアイランド対策		③ みどり・ヒートアイランド対策		
項目	評価内容	スコア	評価	
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価	1.0	2	
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価	2.0		
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価	2.0		
その他				
先進的技術の導入	技術の名称	考慮事項		
特に配慮した事項				